



子育てをされている
お父さん・お母さんへ



ひとりで悩まないで

子どものすることが遅くてイライラする

自分の子なのに
かわいいと思えない

子どもが
うっとおしくて
つい無視してしま

何をしても泣き止んでくれないので悩んでいる



言うことを
きかないので、
ついカッとして
手をあげそうに
なる

子どもの成長は楽しみですが、思いどおりに
ならない子育てに行き詰って、不安や悩みを抱
えてしまうことがあります。

「自分の子なのに“かわいい”と思えない私
はひどい親だ」と自分を責めたり、「こんなこ
と、誰にも言えない」と、不安や悩みをひとり
で抱え込むことが、いつの間にか“虐待“へと
つながってしまう場合があります。

私達は、毎日子育てをされているお父さん、
お母さんの一番の応援者でありたいと思ってい
ます。気軽にご相談ください。



～ 相 談 窓 口 ～

すべての相談窓口はあなたのプライバシーを
守ります～

虐待に関する相談窓口

児童相談所全国共通ダイヤル

電 話 番 号 189 (いちはやく)

曜 日 ・ 時 間 毎日 / 24時間

家庭子ども相談室(子ども未来課)

(子育てに関する相談も受けています)

電 話 番 号 69-0340

曜 日 ・ 時 間 月～金(祝日除く)
8時30分～17時15分

子どもの人権110

電 話 番 号 0120-007-110

曜 日 ・ 時 間 月～金(祝日除く)
8時30分～17時15分



子育てに関する相談窓口

子育て世代包括支援センターはぐはぐ

電 話 番 号 69-0370
不在の場合、健康推進課に転送されます

曜 日 ・ 時 間 月～金(祝日除く)
8時30分～17時15分

京丹後市
ホームページ

<http://www.city.kyotango.lg.jp>

みんなで守ろう

子どもの笑顔と未来

あなたはひとりではありません。
つながり支え合う人が必ず、あなたの
周りにいます。



京丹後市 子ども未来課

電話 0772-69-0340

子どもの虐待

子どものサインに気づいて

「子どもの虐待」は、子どもを温かく守り、育てるべき親や親に代わる養育者が、子どもの心や身体を傷つけ、健やかな成長や人格の形成に重大な影響を与える行為で、子どもに対する著しい人権侵害です。

親が「しつけ」と思っている行為でも、現実には子どもの心や身体が傷つく行為であれば、それは「虐待」です。



体罰・暴言は「愛の鞭」ではなく虐待！！

体罰や暴言は、子どもの脳の前頭前野を委縮させるなど影響を及ぼすほか、親子関係の悪化、精神的な問題の発生、問題行動の増加（すぐにキレル・暴言・暴力などの攻撃性の増加）などの望ましくない状況につながる危険があります。

参照：厚生労働省

「子どもを健やかに育てるために～愛の鞭ゼロ作戦～」

体罰や暴言はNG

子どもは恐怖を感じるばかりで、何が悪かったのか理解することができません。

心を閉ざす子ども

体罰や暴言から子どもに恐怖心が生まれると、親の顔色をうかがって行動するようになります。

悩みを抱えていても恐怖を感じている親には心を打ち明けられなくなります。

～ 子ども虐待～

どのような行為を虐待というの？

身体的虐待

- 打撲、あざ、やけどなどの外傷が生じる恐れのある暴行（殴る・蹴るなど）
 - 首を絞める、お風呂に沈める
 - 夜間に家の外に閉め出す
- 等

心理的虐待

- 大声で怒鳴る、ののしる、脅迫する
 - 無視や拒否的な態度をとり続ける
 - きょうだい間での差別的な扱い
 - 子どもの目の前での家庭内暴力
- 等

ネグレクト

- 食事を与えない
 - 衣服や髪がいつも汚れている
 - 病気になっても受診させない
 - 通学させない
 - 家や車中に閉じ込める
- 等

性的虐待

- 性器や性交を見せる
 - 性器を触る、触らせる
 - 児童ポルノの被写体にする・ポルノビデオを見せる
 - 性的行為を強要する
- 等

「虐待かな？」と思った時はどうしたらいいの？

まずは、勇気をもって連絡を！

気づき

- 毎日のようにひどく怒鳴られている
 - 身体に不自然なあざや傷がある
 - 夜遅くまでひとりで遊んでいる
 - 衣服や髪がいつも汚れている
 - 親を避けようとする
- 等



通告

189（いちはやく）番へ

- 虐待かなと思ったら、ためらわずに連絡してください。連絡は匿名でも可能です。プライバシーは守られます。

虐待に気づいて、行動（通告）することは、「虐待をしている親を責めること」ではありません。子どもひいては、虐待をしている親の抱えている問題を解決する第一歩となり、親を救うことにもつながります。

子ども虐待のない京丹後市を目指して！

オレンジリボン、子ども虐待防止のシンボルマークです。

子どもたちが笑顔で明るい未来を担ってほしいとの願いがこめられています。子どもを虐待から守るために、子ども虐待の問題を正しく理解していただき、地域での温かい見守りをお願いします。

